

問1 長時間労働を防ぎ働き方を改善するために、国が定めた働く際の基本的なルールを定めた法律を何という？

1. 労働基準法                      2. 労働関係調整法                      3. 労働組合法                      4. 職業安定法

問2 株式会社が経営に失敗した場合でも、株主は出資した金額の範囲内でのみ責任を負う原則を何という？

1. 無限責任                      2. 無過失責任                      3. 有限責任                      4. 連帯責任

問3 労働組合が使用者と賃金や労働条件について話し合う権利を何という？

1. 労働基本権                      2. 団体行動権                      3. 団体交渉権                      4. 団結権

問4 株主総会において、会社の経営方針などの決定に参加するために、株主が持つ権利を何という？

1. 拒否権                      2. 経営権                      3. 優先交渉権                      4. 議決権

問5 労働基準法、労働組合法、労働関係調整法の3つをあわせて総称して何という？

1. 公務員の労働権                      2. 労働三法                      3. 労働基本権                      4. 労働三権

問6 労働者と使用者の間で争いが起きたときに、公的な機関が間に入って解決を助ける仕組みを何という？

1. 仲裁                      2. 緊急調整                      3. あっせん                      4. 調停

問7 労働組合が賃金や労働時間の改善などを求めて、使用者と話し合うことを何という？

1. あっせん                      2. 団体交渉                      3. 争議行為                      4. 緊急調整

問8 労働三権を具体的に保障し、労働組合が使用者と対等に交渉できるようにした法律を何という？

1. 労働組合法                      2. 労働関係調整法                      3. 労働基準法                      4. 職業安定法

問9 賃金や労働時間などの最低限の基準を定め、労働条件の引き下げを禁止している法律を何という？

1. 労働関係調整法                      2. 労働組合法                      3. 労働基準法                      4. 男女雇用機会均等法

問10 労働者が団結して使用者と交渉するために作る組織を何という？

1. 労働基準監督署                      2. 使用者                      3. 労働委員会                      4. 労働組合

問11 株式会社に対して事業資金を出資し、その代わりとして株式を保有する人のことを何という？

1. 債権者                      2. 従業員                      3. 株主                      4. 経営者

問12 新しいビジネスを自分自身で新しく始めることを何という？

1. 起業                      2. 買収                      3. 廃業                      4. 合併

問13 株式会社の所有者であり、出資することで会社の運営に関与する人を何という？

1. 経営者                      2. 従業員                      3. 株主                      4. 債権者

問14 団体行動権の行使として、労働者が仕事をすることをやめて要求を通そうとする行為を何という？

1. 怠業                      2. ロックアウト                      3. ストライキ                      4. サボタージュ

問15 組合員が団結して業務を拒否するなどの実力行使を行う権利を何という？

1. 団結権                      2. 争議権                      3. 団体交渉権                      4. 労働基本権

問16 日本国憲法第28条で保障されている、労働者が使用者と対等に交渉するために必要な3つの権利を総称して何という？

1. 日本国憲法                      2. 労働三権                      3. 労働三法                      4. 労働基本権

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>労働基準法</b>	労働基準法は、賃金、労働時間、休日、安全衛生などについて「最低基準」を定めています。これに違反する労働条件は無効とされ、雇用者は必ず守らなければなりません。
問2	<b>答え 3</b> <b>有限責任</b>	そこで定められたのが有限責任の原則です。株主は、万が一会社が倒産しても、自分が投資した金額以上の損失を負担する必要はありません。これにより、多くの人が少額から投資に参加できるようになり、企業はより広く資金を調達することが可能になりました。
問3	<b>答え 3</b> <b>団体交渉権</b>	労働組合が労働者の代表として、経営者側と賃金や労働時間などの労働条件について交渉する権利を指します。これにより、労働者の生活を守るための具体的な条件を話し合うことができます。
問4	<b>答え 4</b> <b>議決権</b>	議決権は、保有している株式の数に応じて与えられます。株主総会での決議において、この権利を行使することで賛成や反対を表明します。例えば、重要な役員の選任や、会社の方向性を変えるような大きな決定を多数決で決める際に使用されます。
問5	<b>答え 2</b> <b>労働三法</b>	労働条件の最低基準を定めた「労働基準法」、労働組合を保護する「労働組合法」、争議の調整を行う「労働関係調整法」をあわせて「労働三法」と呼びます。これらは労働者が使用者と対等な立場で働けるようにするために不可欠な法律群です。
問6	<b>答え 3</b> <b>あっせん</b>	労働関係調整法に基づき、公的な機関が間に入って争いの解決を図ります。これには当事者に歩み寄りを促す「あっせん」のほか、調停や仲裁といった手続きがあり、公平な立場から解決をサポートする仕組みです。
問7	<b>答え 2</b> <b>団体交渉</b>	団体交渉は労働者が団結し、労働組合を通じて賃上げや労働時間の短縮などを要求する行為です。使用者には誠実に交渉に応じる義務があり、これを拒否することは不当労働行為とみなされます。
問8	<b>答え 1</b> <b>労働組合法</b>	労働組合法は、労働者が労働組合を結成して交渉することを保護しています。使用者に対し、正当な理由なく交渉を拒否することを禁止する「不当労働行為の禁止」を定めており、組合が団体交渉を行う権利を強かにバックアップしています。この法律により、労働組合は使用者に対して対等な立場からの話し合いが可能となります。
問9	<b>答え 3</b> <b>労働基準法</b>	労働基準法は、賃金、労働時間、休憩、休日、有給休暇など、労働契約を結ぶ際に守るべき最低基準を定めています。この基準を下回るような労働条件は無効となり、雇用主は罰せられます。また、性別や国籍、信条を理由とした差別的な扱いも禁止されています。
問10	<b>答え 4</b> <b>労働組合</b>	労働組合は労働三権を背景に活動し、賃金の引き上げや労働時間の短縮、安全な職場環境の確保を目的として使用者と交渉します。
問11	<b>答え 3</b> <b>株主</b>	この出資に応じる人を株主といいます。株主は株式を保有することで、会社を所有する権利を持ちます。その権利には、株主総会で会社の経営方針に投票する議決権や、会社の利益から配当金を受け取る権利が含まれます。
問12	<b>答え 1</b> <b>起業</b>	起業家は市場の課題を見つけ、独自のサービスや製品を提供することで利益を目指します。成功すれば大きな経済的報酬を得られる一方、事業がうまくいかずに投資した資金を失うリスクもあります。会社を設立するための手続きや資金調達、経営管理などを一から自分で行う必要があります。
問13	<b>答え 3</b> <b>株主</b>	株主は、自分の出したお金（出資額）を限度として責任を負う有限責任を負います。万が一会社が倒産しても、自分の出資した分を失うだけで、それ以上の個人的な負債を抱えることはありません。その代わりに、株主総会での議決権を通じて会社の運営に関与する権利を持ちます。
問14	<b>答え 3</b> <b>ストライキ</b>	ストライキは「同盟罷業」とも呼ばれ、職場を放棄することで会社に経営上の圧力をかけ、交渉を有利に進めることが目的です。法律を守って行われる正当なストライキであれば、参加者は民事・刑事上の免責を受けます。
問15	<b>答え 2</b> <b>争議権</b>	争議権は団体行動権の一部です。代表的な行為として、仕事を行うことを拒否する「ストライキ（同盟罷業）」や、作業をわざと遅らせる「サボタージュ」などがあります。
問16	<b>答え 2</b> <b>労働三権</b>	具体的には、労働組合を作る「団結権」、使用者と交渉する「団体交渉権」、要求を実現するために実力行使をする「団体行動権」の3つです。